

研究課題名：個別最適な学びと協働的な学びを結ぶ小学校理科探究学習支援の教授方略システム開発

研究種目：基盤研究（C）（一般）

研究代表者：京都文教大学 こども教育学部 教授 大前暁政

（概要）

本研究では、申請者が開発した小学校理科における「探究学習を実現する教授方略」を発展・深化させ、個別最適な学びと協働的な学びを連動させた「探究学習」を支援するための「教授方略システム」の開発を目的とする。近年、科学的な探究能力や態度の育成が重視され、個別最適な学びの実現の面からも、有効な方法として探究学習が注目されている。しかし、理科における探究学習は、主に中学校と高等学校で行われ、基礎基本の習得に力点が置かれる小学校段階では、学習者中心の探究学習は少なく、教授方略に関する知見は少ない。個別最適な学びと協働的な学びを連動させた探究学習の教授方略システムを構築することで、小学校における質の高い理科学習の保障と、科学的な能力の育成、学習者の自己調整能力の育成、中学校以降の理科探究学習への連結と推進、教師教育の充実・発展が期待される。

※令和7年度研究計画書より抜粋